

概要

様々な課題を抱え、既存の学校の枠に入りきらない子どもに対し、他者と関わりが持てる「場」を提供することで、不登校や引きこもりなどの社会的孤立を防ぎ、将来の自立を支援

行政課題

様々な事情により不登校となっている子どもの社会的孤立の防止
 様々な課題を抱え、既存の学校の枠に入りきらない子どもに対し、他者と関わりが持てる「場」や柔軟性のある教育プログラムやケアを提供することで将来的な自立を支援することを目標としている。そうすることで、教育、医療、生涯年収、社会的サービスの観点から、不登校が継続した際に発生しうる社会的コストを予防することも目指している。

委託概要

教育相談事業：池田市に在住する小・中・義務教育学校の児童生徒
 フリースクール事業：NPO法人トイボックスが運営するフリースクール「スマイルファクトリー」に在籍する32名
 平成31年12月以降にスマイルファクトリーに通室した児童生徒、また事業実施期間に本人及び保護者と連絡が全く取れない期間が2ヶ月以上続いた児童生徒は除く

対象

内容

- ・サービス対象者のスマイルファクトリーへの出席及び教育相談を促す
- ・スマイルファクトリーでの指導（右記図の活動STEP）を通じて出席日数増加を促す

期間

令和元年 8月～令和2年 3月

予算

契約総額950万円
 最低支払額450万円
 成果連動型支払い上限額500万円

成果

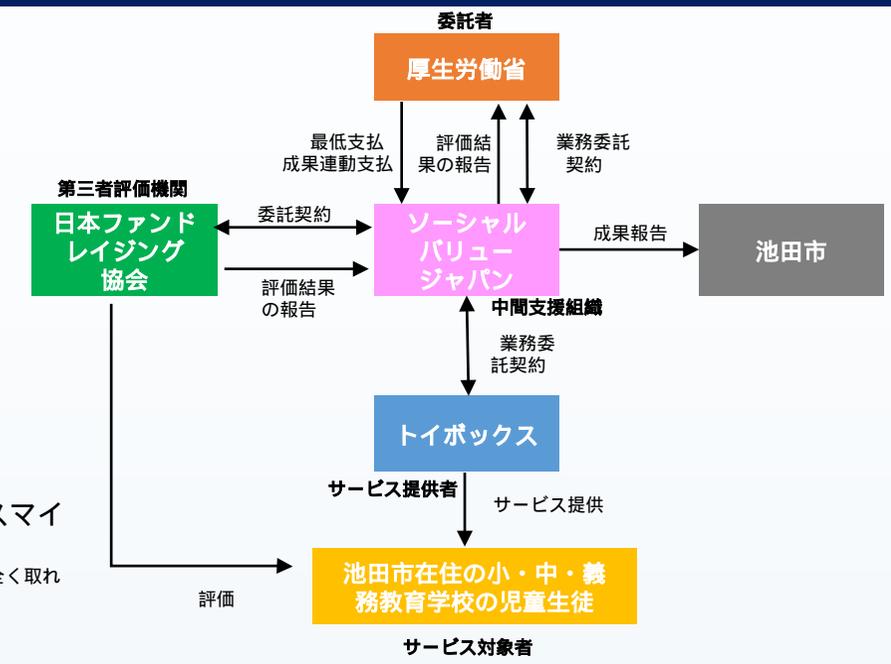
スマイルファクトリー及び原籍校の出席率：実績35.9% / 目標32.8%
教育相談件数：実績1,004回 / 目標1,433回

支払額

869万円

PFS活用の利点・課題

- ・成果を可視化する取組によって、社会的事業者や行政などの異なるステークホルダーが成果についての考え方を共有し、協働の基盤を構築できた。
- ・多様なステークホルダーの協働という観点で、効果的なインパクトの創出につながる関係者間との連携体制をモデル事業として全国に広めていく可能性が示唆された。
- ・目に見える形で成果が現れるとは限らないため、成果の設定が難しい



スマイルファクトリーの活動ステップ